

保育施設のパソコン導入

～ ICT化の推進 ～

1 目的

江田島市は保育園（2施設）、認定こども園（3施設）において保育業務を行っていますが、手作業や手書きによる旧態依然の状態にあります。

出生数の減や社会情勢の変化により、子どもの数は毎年減る一方ではありますが、保育施設においては、受入年齢の引き下げや延長保育・一時保育の全園拡充対応、英会話教室や特色ある保育の新たな導入など、増え続ける業務が保育士の負担となっています。

そのため、全5施設にパソコン等ハード機器を導入し、事務作業の軽減化・ICT化を図ることにより、園児と向き合える時間を増やすことなどで保育の質を向上させることを目指します。

※ ICT（情報通信技術）とは、PCだけでなくスマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称です。

2 現状

令和2年10月30日時点における、各保育施設のパソコン導入状況は次のとおりです。

	ネット接続有	令和2年度購入 (11月末納入予定)	事務作業用 (ネット接続不可)	合計 (台)
認定こども園 えたじま	2	1	3	6
切串保育園	1	1	3	5
認定こども園 のうみ	1	1	4	6
三高保育園	1	1	3	5
認定こども園 おおがき	2	1	3	6

10年以上前に購入した古いパソコンが多いため、学校施設等に配備されていたリース終了後のパソコン（比較的新しいもの）を事務作業用パソコンとして調達するとともに、今年度予算で新たに5台を購入します。

3 軽減が見込まれる主な事務作業

現在、手作業や手書きによる作業をパソコン導入によることで、保育士の負担軽減が可能と見込まれている主なものは次のとおりです。

- 出張・研修後の復命書（報告書）
- 園だより・発表会等行事のしおり
- 保育実施計画等各種計画書
- 保護者への各種通知文
- 事務日誌・出席簿・シフト表など
- アプリ（後述）を利用した保護者や関係者等への情報伝達・情報発信
- 総務課や子育て支援課からの業務伝達及び各種提出物等の効率・迅速化、ペーパーレス化

4 今後の配備予定等

- 来年度以降も順次パソコンの導入を行い、全保育士に配備するよう準備を進めます。
- サイボーズ（庁内クラウドサービス）・ファイルサーバ（庁内ネットワーク）を令和3年度から全園長のパソコンに導入し、その他の保育士も順次進めていきます。
- モノクロプリンタのリース期間満了後に順次カラーの複合機へ移行していきます。（残りは切串保育園・認定こども園のうみの2施設。）
- 「母子モ（電子母子手帳）」を使った保育施設の各種行事や台風等気象状況に伴う緊急連絡情報の発信などを行う予定です。（「れんらっこ」は今年度末で廃止予定です。）